

かながわの風

11
2016. Spring

編集・発行  公益社団法人神奈川県社会福祉士会 <http://www.kacsw.or.jp>

私たちにできること・・・

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

副会長 吉田 勝利

県民の皆さま、会員のみなさまに日頃から本会の活動にご理解ご支援をいただきまして深く感謝申し上げます。

近年、個人、家族・地域の在り方、その形態等がめまぐるしく変化し、そこで起こるさまざまな問題は、複雑に絡み合ったいたのように個人のちから、家族のちから、地域のちからによって解きほぐす（対応・解決する）ことが困難になっています。

「その複雑にからみあった問題を解きほぐし、問題と向き合あい、問題を抱えながらも地域、組織、社会でそのひとらしい生活が行うことができるように。」私たち社会福祉士（会）は、ソーシャルワーク理論に基づく価値観を礎とし、より高度な専門知識と技術をもって支援をおこなっています。

そして、県民のみなさまひとりひとりが、地域で、社会で“そのひとらしく”生活を行っていくために地域、組織、社会のなかで起きている問題を自らのものにとらえ、共に解決していく“ちから”を培っていくことができるように支援・啓発活動を行いながら県民のみなさまとともに成長していくことを願っています。

今後も本会の活動にご理解とご支援を頂きますように、お願い申し上げます。

わたしたちは、求め・問い続けていく
あなたのためになにかできるだろうか？

このちいさな手で。

あなたの声を聴く事ができるだろうか？

この小さな耳で。

あなたのことをみつめることが
できるだろうか？

このちいさな瞳で

あなたの声を伝える事ができるだろうか？

この小さな声で。

あなたとともにあゆむことが
できるだろうか？

このあしぶみで。

わたしは とても弱いけれど
強くなれるだろうか？

あなたのために。

CONTENTS

- 02 水谷修先生講演会に寄せて
- 03 さいとうさんち訪問記
- 04 実践発表大会を実施しました
- 05 第24回 日本社会福祉士会全国大会
社会福祉士学会（愛媛大会）のご案内

- 06 理事会報告
- 07 各支部長から
本年(28年度)の予定、全体会のPR等
- 08 公開講座&研修会・情報コーナー・編集後記

2016年2月27日、新都市ホールにて「子どもの未来を守るために～いま私達ができること～」
と題し、夜回り先生こと水谷修氏による講演会を開催しました。

水谷修先生講演会に寄せて

会長 山下 康

聴く者を圧倒する力のある言葉が、次々と心の風景を変えていく。現代社会が抱える闇や孤独。携帯やスマホがコミュニケーションを希薄化し、夜の闇・孤独に向かわせる。そんな現実が突き付けられた。「生きろ!」「とにかく生きろ!」水谷先生からのメッセージは自らの生き方を問う内容でもあった。寄り添いあい、存在を認め合う事が孤独や闇と戦うすべだ。水谷先生は600人近くの参加者の心を鷲掴みにし、会場の一体感は最高潮となる。涙が止まらなかったのは私だけだろうか。水谷先生の思いを真剣に受け止め、明日に繋げていこうと思う。





さいとうさんち

訪問記

JR茅ヶ崎駅から徒歩わずか2分。民家を利用した「さいとうさんち」があります。毎週水曜日、午前10時から午後3時までがオープンタイム。ランチ、飲み物付きで参加費300円。事前の申し込みは不要で、誰でもぶらっと来て大丈夫。運営スタッフで「地域のお茶の間研究所さろんどて」の早川仁美さんはこう話します。「仲間といっしょに、空き家を利用した地域の居場所づくりをしたかったし、私自身が子育てのときにお世話になった方々への、いわゆる恩送りをしたいと思っていたんです」。

若い頃に夫の転勤で知らない土地で暮らした経験から、育児には近所の人助けがいかに大切かを実感したという早川さん。家に閉じこもりがちな子育て世代が高齢者やさまざまな人と結びつくことで安心して暮らせる環境になる、そんな思いも込められています。はじまりはおよそ4年前。現在、高齢者、子育て中の母親を中心にボランティアやスタッフ合わせて、毎回30~40人の利用があります。「口コミから専門職の方からの紹介で参加される方までさまざまです。また、ボランティアは傾聴や料理作りなど、ご自分の力を生かしてもらうことが一番です」(早川さん)。

月に1回はこれからママになる人と0歳児の赤ちゃんの「ママの日」も開催。ほかに別の場所で毎月1回の子ども食堂も開いています。いずれも大盛況の賑わいです。

「中には発達に不安がある、子どもが不登校といった悩みをもった人もいます。いずれにしてもそれが必要かどうかは利用者が決めること。また、こうした取り組みが貧困の対策になるかといえばそれだけではないと思っています」(早川さん)

運営費は参加費、賛助会費、寄付、補助金などでやりくり。介護士、保育士、ケアマネ、自治会関係者や元民生委員など多職種のスタッフが強みと話します。地域づくりを実践する早川さんに「社会福祉士」について問うと、その答えは明快でした。

「私がつもつ社会福祉士のイメージの原型は、あるスクールソーシャルワーカーさんです。ない資源は地域に作っていく、そういうことをしてくれる人だと思いますので、皆さんにもぜひ制度の狭間にいる人と地域をつなぐ仕事をしてほしいな」



地域のお茶の間
そのものです



空き家になった
一軒家を活用



早川仁美さん



メニューは
カレーが主



子ども食堂は
昨年11月から

実践発表大会を実施しました

2016年2月21日、ウィリング横浜において、実践発表大会を開催しました。

当日は多くの方にお越しいただきありがとうございました。

日々の実践の役立ちそうなどのご意見をいただきました。

2016年度も継続して開催を予定しています。秋ごろに演題募集を行う予定にしていますので、ぜひ今から準備していただき、ご応募いただきますようお願いいたします。

当日の演題

若手会員の人材育成・支えあいシステムの構築による支部の強化

小島 祐行様

「あさお多職種多分野ネットワーク」の立ち上げと実践

別府 政行様

多文化ソーシャルワーク教育・研修の必要性

平田 美智子様

金井 直子様

主体的に学び続けるために

今村 洋子様



今年こそ、
全国大会に
行こう。

第24回 日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会(愛媛大会)のご案内



「生きる」を支える～社会福祉士の可能性～

一般社団法人愛媛県社会福祉士会 会長 井上 俊



「生きる」を支える～社会福祉士の可能性～というテーマを掲げて、第24回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会を愛媛県松山市で開催させていただくこととなりました。

私たち社会福祉士は、分野は様々ではありますが、ソーシャルワーカーとして人々の生きることを支えています。社会福祉士が国家資格となり、27年が経過しましたが、それ以前から我々は福祉を必要とする人々の生きることを支える専門職として働いてきました。1996年の阪神大震災の後、その現場で被災された方々とともに苦しみ、模索し、また、2011年の東日本大震災においては、自らになしえることを探して多くの仲間たちが現地を訪れました。その活動は今なお続いています。

昨年の石川大会において、「これからの福祉実践への架け橋～社会福祉とコミュニティの再考～」というテーマでこれまで先人や私たち自らが実践してきた「社会福祉」、実践の場であり暮らしの場である「コミュニティ」について、いま一度立ち止まって考え、これからの実践へとつなげる架け橋となる大会が行われ、利用者と共に生き共に暮らすため、我々社会福祉士の実践力を伸ばしていくための論議を深める機会となりました。

2016年の愛媛大会では昨年の石川大会を受け、近年めまぐるしく変わっていく社会福祉関連分野の法制度の成立や改正に振り回されることなく、すべての人が人間としての尊厳を有し、価値ある存在であり、平等であることを前提として、その生きることを支えるという社会福祉士の倫理に立ち戻り、何らかの支援を必要とする人たちの、「生きる」を支えるために、「今」私たち社会福祉士に何ができるのか、また「これから」どうしていくことが必要なのか、支え続けることのできる「社会福祉士の可能性」について様々な視点から全国の仲間たちと語り合いたいと思います。

愛媛県松山市は人口51万人の中核市であります。町の中心に松山城を有し、北には日本最古と言われる道後温泉、西には瀬戸内海に面した松山観光港、市街地にはマッチ箱のような電車が走り、市内中心部はどこでも徒歩で移動できるコンパクトシティです。夏目漱石の小説「坊ちゃん」、司馬遼太郎の「坂の上の雲」の舞台としても知られ、また、高校生の俳句甲子園や書道甲子園でも有名になりました。瀬戸内海の海の幸、四国山地の山の幸、素晴らしい食材の宝庫ともいわれております。でも、意外と四国にあることは知られておらず、よく愛知県と混同されてしまいます。この機会に、日本の秘境と言われている四国・愛媛県にぜひお越しください。

この愛媛、松山の地での全国大会が、みなさんが社会福祉士として自らの実践を振り返り、支えを必要としている人々の「何を」支えていくのか、改めて問い直す機会になれば幸いです。ぜひ、この大会で「生きる」を支える社会福祉士の可能性、そして「自分」の可能性を共に考えましょう。

愛媛県社会福祉士会会員一同、皆様にお会いできることを心よりお待ちしております。

第24回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(愛媛大会)

【基調講演】元厚生労働事務次官 村木 厚子 氏

【記念講演】NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク 代表 清水 康之 氏



※お手持ちのスマートフォンでQRコードを読み取ると、愛媛県社会福祉士会の全国大会のページをひらくことができます。是非一度アクセスしてみてください！

<理事会報告>

◆平成27年度 第8回理事会 報告 平成27年12月13日(日) 14時～16時 ウィリング横浜5階502

議長山下会長、理事出席15名 議事録署名人：内藤理事・松下理事、江原監事

<審議事項>

- 第1号議案 入退会審査について 承認
- 第2号議案 発信公文書取扱い細則改正案について 承認
- 第3号議案 ぱあとなあフレックス細則・定着フレックス細則改正案について 承認
- 第4号議案 ぱあとなあ神奈川2月定期報告関係書類様式について 承認

<協議事項>

- ①ホームページ改訂
- ②ホームページ改訂運用管理規則案について
- ③支部における行政との相談会開催等の取扱いについて (①②③了承)
- ④自殺未遂者退院支援連携モデル事業について<継続審議>
- ⑤ぱあとなあ神奈川更新基準、規則改正について 了承

<報告事項>以下各報告事項を確認した。

- ①「刑事弁護における社会福祉士等の紹介に関する協定書」及び「実施要綱」について
- ②ぱあとなあ神奈川 後見人候補者名簿登録状況及び後見人等候補者推薦の状況について
- ③会計10月分までの進捗状況及び、各事業部支部の事業計画予算案の提出状況について
- ④各推薦後援状況について
- ⑤各事業部委員会2ヶ月報告(10月分)について
- ⑥委託事業の進捗状況について
- ⑦第7回理事会議事録について
- ⑧選挙管理委員会報告(第3期役員候補者の選考結果を確認)

◆第9回理事会 平成28年1月12日(火) 18時45分～20時50分

議長山下会長、理事出席14名、議事録署名人：小島理事・鈴木理事、齊藤・江原監事

<審議事項>

- 第1号議案 入退会審査について 承認
- 第2号議案 2016年度神奈川県社会福祉士会事業計画(事業部・支部)案について
- 第3号議案 2016年度神奈川県社会福祉士会予算(事業部・支部)案について
事業計画については、「4本柱」について、会員の意見・希望を聴くため、最終決定をしたのちHPに掲載をする。
第2号議案・第3号議案の事業計画予算については、次回へ継続審議
- 第4号議案 公益社団法人神奈川県社会福祉士会ぱあとなあ神奈川更新基準規則改正案について 承認
- 第5号議案 公益社団法人神奈川県職員研修細則改正案について 承認
- 第6号議案 ぱあとなあ神奈川後見人候補者名簿登録状況について 承認
- 第7号議案 児童問題講演会(講師水谷修氏)の開催について 承認

<協議事項>

- ①子どもに関する事業部(仮)の設置について 協議後今後も引き続き検討することで 了承
- ②ソクラテスプロジェクトからの協力依頼について 了承

<報告事項>以下の各報告事項は了承

- ①会計11月分までの進捗状況について
- ②各推薦後援状況について ⇒ 今回12月13日以降推薦後援はなし
- ③委託事業の進捗状況について
- ④第12回理事会開催予定について ⇒ 3月28日 19時から開催する。
- ⑤第8回理事会議事録確認

その他 7月末に全国肢体不自由児父母の会連合会全国大会・関東甲信越神奈川大会開催に関する参加呼掛

県央支部

支部長：金 峻基

県央支部の平成28年度の活動については例年通り、支部会員の抛り所になる「定例会」を基本第一金曜日に毎月開催していく予定です。また、公益活動も今年度は支部会員の提案を踏まえ例年より1つ増やし3カ所で開催していきます。今後も支部会員の皆様の「声」を「形」にしていく支部作りを皆様と進めて参りたいと考えております。

全体会については4月23日に予定しております。当日の全体会の後には20万部を超えるベストセラー「下流老人」の著者の藤田孝典氏をお呼びして市民講座とその後も懇親会を企画しておりますのでぜひ多くのご参加をお待ちしております。

西湘支部

支部長：加藤 公

西湘支部では「つなげていこう西湘の力、発信しよう西湘地区へ」をスローガンに活動を行っていきます。本年度の研修テーマとしては、「社会問題あれこれ」と題し、様々な事柄に取り組み、初回は神奈川県介護福祉士会理事の鈴木真氏をお招きしてお話をいただく予定です。前年同様、会員が気軽に集まり話ができる「ゆる☆つなサロン」や懇親会も継続していきます。また、リアルタイムな情報発信ができるよう、支部会員へのメール配信も検討しております。

詳しくは後日、西湘支部よりのご案内をさせていただきます。

相模原支部

支部長：小針 淳一

相模原支部では、今年度「地域に生きる 社会福祉士」を活動テーマとしています。社会福祉士として地域に「活きた」活動をする上では、相模原の様々な社会資源を把握・学ぶことや、関係機関・他職種とのネットワークの構築を進めていくことが重要と考えており、その一助となるような活動を進めます。尚、研修会をはじめとした支部活動のご案内について、今年度からは極力郵送を省き、県士会ホームページや相模原支部のフェイスブック上での周知、登録者への電子メール配信等の手段に切り替えていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。※適宜ご確認をお願いいたします。

支部フェイスブック:

<https://www.facebook.com/fukushishi.sagamihara/>

※以下のアドレスにお名前と会員番号、「メール登録希望」とご記入の上ご送付ください。

tashiro-dt@ac.cyberhome.ne.jp(副支部長 田代)

湘南西支部

支部長：伊藤 倫博

皆さんこんにちは。特にこの4月から湘南西支部内の各市町にお住まいの方、勤務されている方、ようこそお越しいただきました。これからぜひ一緒に活動を盛り上げましょう!!

湘南西支部の今年度は、地域に入り拠点を置き、独居高齢者や子育て中の母親、子どもの貧困等を支援している活動に注目したいと考えております。

定例会ですが、4/23(土)AM10時から、ひらつか市民活動センター(JR平塚駅南口)にて全体会の(6/5(日)AM同会場にて開催)のご案内印刷・発送作業を兼ねて開催いたしますので、ぜひお越しください。その他支部関係のご案内も、メール(郵送も可)で行っておりますので、今すぐご連絡ください!!お待ちしております。

横浜支部

支部長：中島 礼子

●全体会 4/24(日)13:30~16:45

西区福祉保健活動拠点フクシアにて(チラシ参照)

第1部:活動報告・年間計画

第2部:コミュニティソーシャルワーク実践講座発表会

●地域連絡会(活動日・会場はブログ等参照)

身近な地域で集い、自主的に活動中。立ち上げや活動を支部がサポートします。

●ソーシャルワーク講座&(仮称)インター連絡会

9/11(日)開催予定 社会福祉士の原点を学び、連絡会の明日を語る新企画。講師:実践SW塾・菊池健志塾長

●コミュニティソーシャルワーク実践講座 10月~4月開催予定

実際の地域を歩き、住民の皆さんから学ぶ研修。

講師:西武文理大学・西川ハンナ准教授

●支部活動の発信 タイムリーな情報満載です。

横浜市社会福祉士会ブログ <http://blog.goo.ne.jp/yacsw/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/yacsw/>

会員向けメーリングリスト申込はEmailで

hamajimu@hotmail.co.jp(事務局)へ

●幹事会 毎月最終月曜19:00~21:00 西区福祉保健活動拠点

フクシアにて支部全体の運営、企画等話し合います。

会員のオブザーバー参加OK。

川崎支部

支部長：平山 みちる

川崎支部の2016年度の支部活動は、例年の支部例会の他に、会員同士の情報交換の場を企画しています。主な活動予定は、例会(研修会・施設見学会)が4回、情報交換の場(サロン)を3回予定しています。また、田園調布学園大学の学園祭への出展も予定しています。支部活動の予定については、県士会ホームページに随時掲載するとともに、支部会員向けには年2回(4月下旬と10月頃)ハガキを送付します。是非ご参加ください。

湘南東支部

支部長：小野田 潤

4月の全体会・記念講演にはじまる今年度の湘南東支部の活動は、恒例になっている施設見学会や「寒川町福祉フェスティバル」と「茅ヶ崎さぼせんワイワイまつり」へ出展を通して市民への啓発活動、さらに、いーすとの会、定例会による会員同士の交流、また、秋には藤沢商工会議所開催の「七士業無料相談会」への参加など、今後の社会福祉士の積極的普及に努めると同時に、新しい会員を増やす取り組みにチャレンジしていきます。

横須賀・三浦支部

支部長：齊藤 学

横須賀・三浦支部では、支部のテーマを「社会実践を通して専門性を高めよう」とし、3つのキーワード「社会福祉実践」「気付き」「専門性」を掲げています。その上で、①ソーシャルワーク技術の向上を目指す②ソーシャルワークの専門職として地域に貢献する③保健、医療、福祉の専門職との連携、協働を推進していくの3つを基本指針として活動を行っていきます。定例会等のご案内はメールやホームページにてご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

月	日	開始時間	終了時間	研修・講座等	概要	場所	主催	対象	費用
4	23	14:00 (13:30 より受付。 記念講演 は15:00)	16:30	全体会・記念講演 「高齢者の地域生活 を支える」～認知症だ けじゃない障害特性を 踏まえた支援とは?	若松直樹先生(新潟リハビリ テーション大学医療学部)による 高齢期に必要な支援とケア	藤沢市民会館 第2会議室	湘南東	全体会は会 員。記念講 演はどなたで も定員60名 まで(定員を 超えた場合、 会員を優先)	無料。 終了後の 懇親会は 有料。
4	23	13:00	14:00	県央支部 全体会	第一部：全体会 「活動報告、年間計画等」 第二部：市民講演会 テーマ「下流老人 一億総老後崩 壊の衝撃」講師：藤田孝典氏 (NPO法人はっとプラス代表理事)	海老名市 商工会議所	県央支部	支部会員	2,000
4	23	14:45	16:45	市民講座	「下流老人」著書 藤田孝典氏	海老名市 商工会議所	県央支部	一般	0
4	24	13:30	16:45	横浜支部全体会	第1部：活動報告・年間計画 等 第2部：コミュニティソーシャ ルワーク実践講座受講生の発表	西区福祉保健 活動拠点フクシア	横浜支部	関心 のある方	無料
5	13	19:00	21:00	たまひよくらぶ	○知り合いになろう!! (お持ちの方は名刺をご持参くだ さい。会場でもカードをご用意します) ○受験体験談 ○グループワーク など ※終了後、海老名駅周辺で懇親会を予定	海老名市 総合福祉会館	県央支部		2,000

生涯研修センターよりお知らせ

2016(平成28)年度に生涯
研修センターで実施予定と
なっている、研修事業につ
いて、大まかな日程がまと
まりましたので、お知らせ
いたします。

詳細については、それぞ
れホームページ上でご案内
させていただきますので、そ
ちらをご覧くださいませう
お願いいたします。



研修名	日程	受講費用
基礎研修Ⅰ	7月～ または 12月～ (※別途事前課題・ 中間課題等があります)	8,000円(※テキスト代込)
基礎研修Ⅱ (※基礎研修Ⅰの 修了が受講要件です)	5月以降(※詳細が決まり ましたらホームページ上で ご案内いたします)	14,000円(※テキスト代込)
基礎研修Ⅲ (※基礎研修Ⅱの 修了が受講要件です)	5月以降(※詳細が決まり ましたらホームページ上で ご案内いたします)	28,000円(※テキスト代込)
共通基盤研修	9月3日、4日	5,000円(※両日共通です)
倫理綱領活用研修	5月29日 12月3日	3,000円 (※費用は日ごとに必要です)
実践発表大会	3月4日	無料

※2017年度以降実施予定の成年後見人養成研修は、基礎研修Ⅲまで修了することが受講要件となります。
予めご了承ください。

編集後記

新しい一歩を踏み出すとき ～ホームページがリニューアルしました～

その昔、神奈川県社会福祉士会が産声をあげたとき、新しい取り組みに挑戦するときやその感動
を分かち合うとき、いつも県民のみならず共にその「想い」はありました…。そして今、新しい一歩を踏み出すとき、この
リニューアルしたホームページが発信源となり新しい道を切り開くその原動力でありたいと広報委員会一同は思っています。

全面的な運用にはまだまだ課題も多くありますが、皆さまのお力を頂きながらひとつひとつの課題や困難を乗り越えて参り
たいと思います。いましばらくご不便をおかけ致しますがよろしくお願い致します。(広報委員長…日向 明)